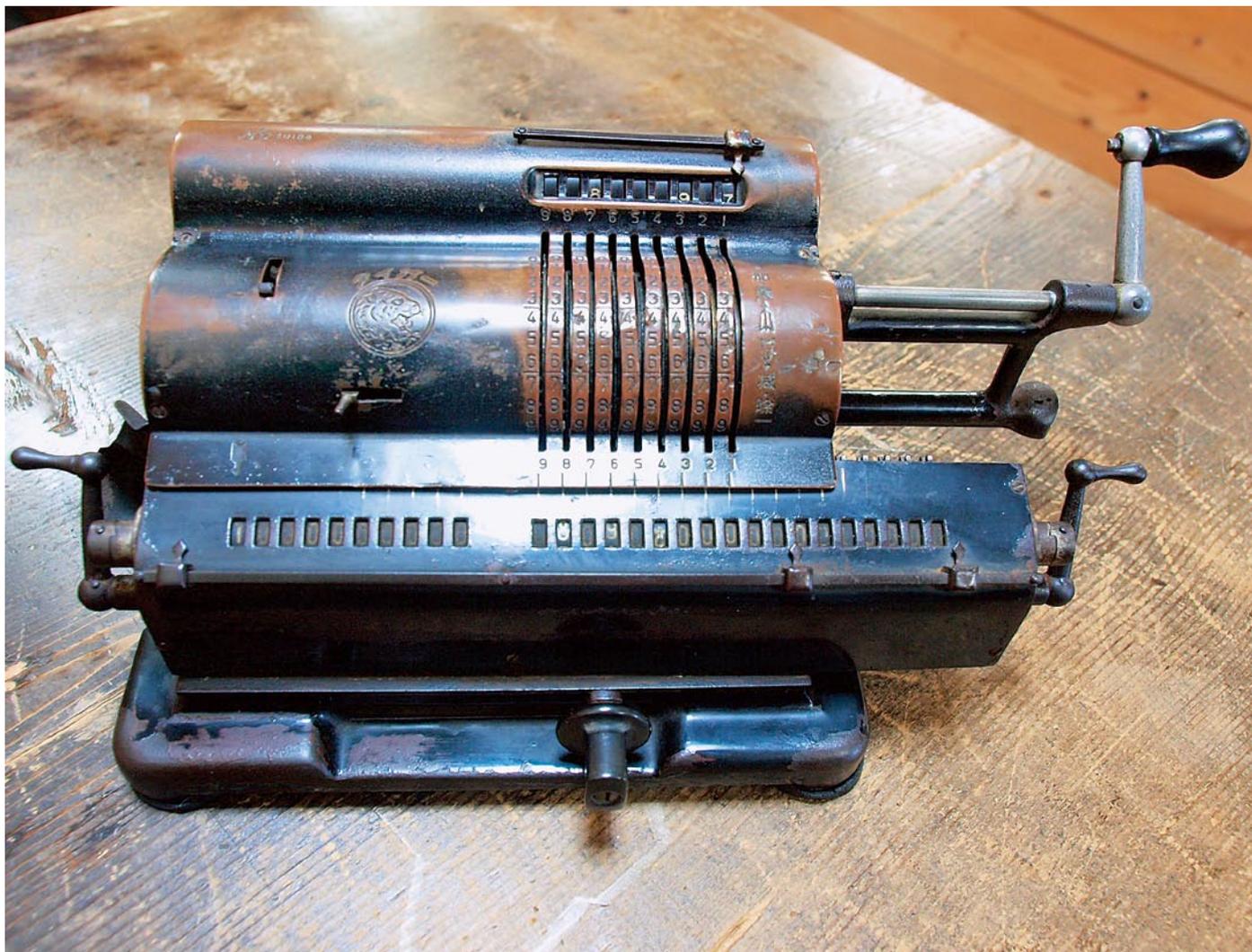


よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2011 June 6 Vol.539
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



「私の逸品～△□○のタイガー計算機」

特集

2011年度 福岡県中小企業家同友会運動方針 次代を拓く“全社一丸”の企業づくり



同友会
3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

タイガー計算機は、1923年に大本寅治郎によって発明され「虎印計算機」として発売されました。自信をもって発明したにもかかわらず、売れません。その当時、「和製は、すぐ壊れるからだめ」という国産品に対する不信が原因ということで、「虎印」を「TIGER BRAND」に変え、舶来品として売りだしたら売れたそうです。カシオの計算機が出てくるまで使われていました。



撮影：船木 治



「私の逸品」

△□○のタイガー計算機です。

株式会社△□○

取締役特別顧問 福田 賢輔氏 (かすや支部)

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成23年8月号は平成23年7月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵送先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

c o n t e n t s

特集

2011 年度

福岡県中小企業家同友会運動方針 …… 3

物づくり・人づくり・地域づくり⑩ …… 11

本場ドイツに負けない手造りハム・ソーセージを
有有限会社 うえすたん

第76回 景況調査 …… 12

理事会報告 …… 13

6月行事案内 …… 14

Information

被災地同友会は、頑張っています!!

Vol.3

陸前高田に泳ぐ800匹の鯉のぼり

全国から送られた800匹の鯉のぼりに子どもたちの歓声が上がりました。

子どもたちが無地の鯉のぼりにペイントする光景が、全国的にテレビ放映されました。

見下ろせば、まだがれきの残る気仙川。しかし、希望の鯉のぼりとともに、前を向いて岩手の会員の仲間たちが奮闘しています。

義援金 (5月11日現在)

250,665,332円 *中同協に振り込まれている額

(福岡同友会からも第1便として、5月6日に6,494,315円を中同協に送金しました)

■被災地への送金額

青森、岩手、宮城、福島、茨城の5同友会に送金し、これまでに合計1億9200万円を送っています。



がんばろう、中小企業!
がんばれ、日本!

福岡県中小企業家同友会運動方針

2011年度スローガン

次代を拓く“全社一丸”の企業づくり

問う、守る、つなぐ

リーマンショック以降、日本経済は厳しい状況が続き、最近でこそ景気の持ち直しが言われるものの、一方では再び景気後退がささやかれるなど、不安定が続いています。また、アジアをはじめとした新興国の成長が目立つ中においても、日本経済は停滞感が続き、大きな岐路に立たされています。政治の混迷、円高、デフレなど、私たちを取り巻く経営環境は本当に厳しくなっています。

昨年6月に閣議決定された中小企業憲章では、「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。」とうたわれています。私たちは、こうした社会からの期待をしっかりと受け止め、自覚と誇りをもって、この混迷した時代を切り拓いていかなければなりません。

このような厳しい経営環境の中にあっても、私たちは経営者の責任と覚悟をいつも問われています。同友会の「労使見解」は、常に私たちに経営者としてのあるべき姿勢を問いかけ、労使関係の創造的発展こそ企業成長の原動力であることを示し続けてきました。だからこそ、同友会で学び、経営指針書をつくり、社員と共に育ちあい、若者に雇用の場を与えながら、新たな事業を切り拓いていく、『全社一丸』の経営の実践が何よりも大切です。社員と共に自社の存在意義を問い直し、労使が共に育ちあい信頼関係を確立し社会的使命感を持って自社と地域を守り、行政や他団体・機関とも連携しながら企業間ネットワークを強化し、持続可能な社会づくりの輪を広げていきましょう。また、たくさんの中小企業経営者にも呼びかけ仲間を増やし、同友会運動で時代を変える大きなうねりを起こしていきましょう。そして、福岡同友会創立50周年(2013年4月)にむけての力強い第一歩を共に突き進んでいきましょう。

全会員が、各企業において「労使見解(中小企業における労使関係の見解)」を基本にして『次代を拓く“全社一丸”の企業づくり』にとりくみます。そのために次のような活動を展開します。

企業づくりの活動

1 充実した、学び合える支部例会づくり 【地区会・支部】

めざす姿

会員経営者の生き方や哲学、経営姿勢や方針が本音で報告され、グループ討議で深められ、報告者も参加者も学びがあり、勇気付けられる例会が感動を呼び起こす。そして、企業で実践しその結果を会に報告される善循環が起こっている。

同友会で「例会」というと会員の体験報告とグループ討議が行われ、労使見解、経営指針、共育が深められる会合であるという認識が共有できている。

5カ年ビジョンの目標

- 会員はどここの支部の例会にも出られる状況をつくる
- 全体平均例会出席人数アップと参加率60%
- 「例会開催マニュアル」の完成

① 例会は自社の経営課題をもちより、経営体験の交流を通して学びあう場であるということをしつかりと認識し実施する。

② 同友会の支部例会は、原則として経営体験報告とグループ討議を基本としており、企画段階から支部役員会が責任を持ち、支部例会開催3ヶ月前を目標に計画案を地区会に提出して、一層充実した内容になるように幹事会で学びあい、討議する。

③ 例会開催につき、1回以上のプレ例会を行ない、グループ長・グループ発表者研修を持って報告内容や討論テーマを具体化する。

④ 「まとめ」の重要性を認識し、例会は「座長」を置いて同友会理念の学びを深めるものとする。また「室長」をおき、円滑な運営で学びが深まるようにする。

⑤ 例会への会員参加数や参加率、ゲスト目標など支部ごとに目標を定め、その達成に向けて日常訪問活動や連絡体制

を確立してブロック会の充実を図る。

⑥会員は県下で開催される支部例会へは、どこにでも参加できることをPRし、参加しやすい雰囲気をつくる。開催日や開催内容の告知の仕方を工夫する。

⑦例会のデータベース化をはかる。(報告内容をブログ形式でHPにアップする)

2支部例会と室や委員会活動での学びの集大成として経営者フォーラムの開催「理事会・経営者フォーラム実行委員会」

フォーラムの位置づけとこれまでの経過

福岡同友会で『フォーラム(福岡県中小企業経営者フォーラム)』を初めて開催したのは、1984年です。福岡同友会が設立(1963年)後、21年経過したときです。同友会運動も県内全域に広がり、会員数も1000名を超え、様々な活動が展開し始めた時期です。

全国的な交流会として『全国研究集会(全研)』が1970年からスタートし、ここ福岡でも1978年に誘致し開催しました。全研だけでなく中同協の定時総会を1971年、青年経営者全国交流会を1975年に同じく福岡で開催しています。

全国的に質の高い学びの場を数多く経験していくなかで、福岡同友会の会員にも「ぜひ多く参加してほしい」と誘い合ってきたが、「なかなか遠くまではいけない」「会社を2日間も空けられない」などの会員の状況があり、「全国レベルの質の高い学びを福岡でも」ということで、全研の福岡版として「福岡県経営者研究集会」の第1回目が開催されました。同時に、同友会運動を語り合うことより、経営問題を持ち寄り、深く学び会おうという内容づくりにも智恵と力を合わせて議論を進めながら企画しました。また、時期を11月頃としたのは同友会活動の前半期の活動をまとめる場

であり、後半期へのバネとすることを考えたものです。

大変好評を得たこの行事は、2回目より経営者フォーラムとして継続して取り組まれるようになりました。それ以降、福岡同友会の柱となる行事として毎年開催され、現在では全県的な取り組みで1000名を超える中小企業経営者の質の高い学びの場として発展してきました。

2011年度は、「全社一丸の企業づくり」経営者と社員の誇りと課題」をテーマにして実施します。

3経営推進本部(新設)による労使見解をベースにした、共同求人・社員共育、経営指針の三位一体の活動

①経営指針の作成と実践

めざす姿

労使見解にもとづいた同友的経営指針を全会員が作成し、それをもとにした経営を

行っている。結果として会社が発展成長している。

5カ年ビジョンの目標

労使見解にもとづいた経営指針の確立と実践が繁栄する重要ポイントとして、5年後2013年度までに成文化企業を全会員の50%をめざす。

①会員の経営指針成文化率を把握する(経営指針推進委員会・各地区会)

②「経営指針作成セミナー」(2泊3日)を、委員会主催で開催する。(経営指針推進委員会)

③経営指針書作成と実践をすすめていくために、「経営指針作成セミナー」参加者のために、フォローアップの会を開催する。(経営指針推進委員会)

④経営指針書づくりの基礎コース「あすなる塾」は、経営指針推進委員会主催、各地区会が運営する。共通テキストを使用し、「経営指針作成セミナー」受講の際、内容の差が生じないようにする。(経営指針推進委員会・各地区会)

⑤企業変革支援プログラムを活用して、自社の企業づくりの検証をすすめる。地区会が率先して推進する。(経営指針推進委員会)

②労使見解の実践

めざす姿

「雇用は最大の地域社会への貢献であり会社発展の原動力である」とらえ、定期採用で求人できる会社づくりと同友会理念を経営者と社員が共有し、お互いが当てにし、当てるにされる関係をもって、自社の発展成長をめざすための共育が行われている。

5カ年ビジョンの目標

●同友会理念を理解した社員がいる企業づくり

●求人、共育活動への参加企業100社をめざす

●障がい者雇用の促進のための就労支援

●社員が学ぶ同友会大学の開校

①「人間尊重の経営とは何か」

について、地区や支部で具体的取り組みを実施する。(地区会)

② 共同求人、社員教育の活動へ多くの会員の参加促進を進め、企業づくりの柱とする。(求人共済委員会)

③ 企業の社員(幹部)が同友会理念を学び、経営者のパートナーになるための機会をつくる。(経営推進本部)

④ 障がい者の雇用を促進する。(バリアフリー委員会)

⑤ 就業規則の整備を進めると共に、男女共同参画、ワークライフバランスを研究する。また、事業承継問題にもとりくむ。(経営労働委員会)

⑥ 2011年の「経営労働問題全国交流会(北九州開催)」を成功させ労使見解を深める。(企画委員会・実行委員会)

③ 企業革新にとりくむ

【経営推進本部】

① 「経営革新支援認定」会員の交流会を開催し、経営革新進捗状況等の情報交換を行う。

② 「経営革新支援認定企業」の紹介を通じて、とりくみへの啓発を進める。

③ 中小企業振興センター等関係機関と連携して、認定取得のための支援を行う。

④ 「物やサービスを買う時は、会員企業から」経済交流の活発化

① 買い物や購入は、同じものなら会員企業からを呼びかけます。

② 地域内好循環のために、信頼関係にもとづく経済交流をさらに促進します。

⑤ 企業連携推進委員会を中心に、産学官連携にとりくみ、新たな仕事づくりを推進

【企業連携推進委員会】

① 「FAST」の活動を通じて新たな仕事づくりをすすめる。

② 業種別関連部会の活動をすすめる、企業間連携を通じた仕事づくりをすすめる。

⑥ 国際交流活動の推進

【国際交流委員会】

① 企業の国際化に対応するために活動を強化する。

② 福岡県の「福岡・アジア国際戦略特区」構想を研究し対応を進める。

⑦ 女性部活動を推進

【女性部委員会】

経営労働委員会と共に男女共同参画・ワークライフバランスを研究する。

⑧ 企業の社会的責任(CSR)を果たす

めざす姿

私たちの先輩は、1973年第一次オイルショックの時、売惜しみなどが横行する中、「我々は決して悪徳商人にはならない」と宣言し、この精神はその後、「国民や地域とともに歩む中小企業をめざす」という理念になって明文化されました。昨今の様々な事象を見るにつけ、この理念の実

践を問われています。その実践の先に、「中小企業憲章」があります。

① 中同協の同友エコへの参加企業数をふやし、CO2削減に取り組む。(地球環境問題委員会)

② NPOとの定期的な交流と協働をすすめる、ソーシャルビジネスの研究と学習を進める。(NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会の新設)

⑨ 景況調査 【景況分析会議】

福岡同友会会員を対象に、四半期ごとに景況調査を実施し、分析報告を会内外に行なう。

⑩ 経営相談活動

【経営相談室】

① 正副代表理事会、および代表理事経験者で構成し、引き続き、気軽に相談できる体制を継続する。

② 行政、他団体、金融機関との連携の強みを生かし、課題解

決を図る。

③ 専門家会員(税理士、公認会計士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士、弁理士等)の協力をえて円滑な相談を行う。

④ 顔と企業が見える関係を強め、地区や支部などでも日常的に身近に相談ができる関係をつくっていく。

同友会づくりの活動

① 会員増強運動の推進

【会員増強戦略本部】

めざす姿

- 福岡県内の隅々に同友会理念が広まっている状態。
- 人口10万の地域に100人の同友会支部ができています。
- すべての活動の結果として県下の法人企業数の10%の会員数に到達する。

5カ年ビジョンの目標

● なぜ会員をふやさなければならぬかを理解している役

員が多くなり、増えるしくみができあがり着実に増強がすすんでいる。

●支部の中で会員が増え、空白地域へも広がって支部ができる(両筑、糸島、宗像、朝倉、田川、京築など)

●2013年度(2014年3月会員数)3,000名の同友会の達成。

会員増強を福岡同友会の最重要課題として全県を挙げて取り組みます。そのために

●「顔の見える活動」を通じて、それぞれの目線にあったアドバイスができる関係づくり。

●例会をはじめ、委員会活動、憲章条例づくりの活動などすべてを有機的、総合的に展開して、すべての活動を会員増強につなげて考える。ことを基本にして、次の方針に基づき活動を進めます。

①増強の意義を全員で共有し、創立50周年にむけて建設的な目標を設定する。

②会員増強の中長期的な戦略(仕組みづくり)を策定し、組織機能と連携して活動をすすめる。

③本部長を中心に、各地区会長が副本部長体制で推進する。

④増強活動を継続するため、増強の状況がリアルタイムの見える化で意識強化を図る。

⑤ブロック活動の充実を図る。

⑥新役員対象の増強研修会を開催する。

⑦会員増強のための全県決起集会を開催する。

⑧県商工部・あすばる・金融機関等と提携し起業セミナーを開催する。

2 中小企業憲章・条例制定運動の推進 【中小企業憲章推進本部 政策金融室】

めざす姿

●中小企業の存在が、社会においてなくてはならないものとして、自他共に評価、確認さ

れている状態。(中小企業憲章が国会決議により制定されている状態)

●福岡県に中小企業振興基本条例ができ、振興会議が結成され、同友会も参画して推進している。

5カ年ビジョンの目標

福岡市、北九州市、久留米市、大牟田市、飯塚市、直方市で中小企業振興基本条例が制定されている。

①中小企業憲章の意義を理解し会内外に伝える。

②3つの重点課題を理解し中同協と共に運動を推進する。

(1)中小企業憲章を閣議決定に止めず、国会決議をめざすこと。

(2)首相直属の「中小企業支援会議」を設置し、省庁横断的な機能を発揮して、中小企業を軸とした経済政策の戦略立案等を進めること。

(3)中小企業大臣を置き、中小企業憲章を具体化した政策・施策の実行体制を強化

すること。

③主要自治体に政策要望提言を行う。その中で中小企業振興基本条例の制定を推進する。

(1)福岡県に対しては、今までどおり政策金融室が主体で行ない、本部も参画する。
(2)県内6市に対しては、本部と各地区地域政策部が連携して行なう。

④主要自治体単位で、本部と各地区地域政策部は、地域活性化のための勉強会などを行ない、行政との連携を強化する。

⑤他団体、機関との連携を推進する。

(1)他の中小企業団体との連携

商工会議所、中小企業団体中央会、商工会、商店街組合などとの連携を推進する。

(2)大学との連携づくり
大学で講座「中小企業論」を設置していただくことにより、連携を強化する。

(3)金融機関との連携づくり
政策金融室を中心に、金融

機関と懇談会や勉強会などを行ない、連携を強化する。

3 広報、情報化活動の強化

めざす姿

マスコミや自治体・他団体から、経営者団体として認知されている。中小企業経営者に対して、人脈による入会に頼るだけでなく、広報による入会も行われている状態にする。

5カ年ビジョンの目標

●定期的な記者会見を行う(毎月・四半期ごと)景況、臨時調査など)

●マスコミ関係者との懇談会が定着している。

※広報情報化推進本部の設置で会員間のネットワーク強化と対外広報の強化

①ブロック活動や例会をホームページへ掲載できる組織を構築する。(広報情報化推進本部)

②ホームページを体系化し、

組織強化の活動

- ③ e・doyou活用促進(広報情報化推進本部)
- ④ 記者懇談会の開催(報道部)
- ⑤ 景況調査による記者会見(報道部・景況分析会議)

1 地区会の強化 【地区会】

本年度より地区会は、運動方針の推進機関として中心的な役割を担い、支部活動及び予算の承認や検証、入退会審議などの統括機能をもつことになり、発展的な議論がより活発に行なわれるように、地区会の充実に努める。また、支部活動の活性化を以下の共通した項目(数と率)で検証する。(現状の把握と目標の設定)

● 会員数(新会員数と定着率)・例会参加・ブロック会参加・経営指針成文化・全国行事参加・求人共育活動参加・e・doyouログイン人数(回答)

2 役員づくりの強化

【役員研修室】

めざす姿

同友会の歴史と理念を理解した役員が運動を進め、役員企業の企業も堅調に経営し会員をリードしている状態。

5カ年ビジョンの目標

- 支部役員全員が役員研修大学を修了している。
- 役員が年1回以上、全国交流会に参加するようになっている。
- 同友会運動と自らの経営体験を重ねながら話ができる語り部となっている状態。

- ① 役員は全員、経営指針の作成をめざし、全社一丸となって実践していること
- ② 役員研修大学を開催し、支部三役、地区、県の役員は全員受講する
- ③ 役員研修室に同友会内の会員研修を統括する。役員研修大学を中心にして体系化を図る。

● 新会員フォローアップ研修

(会員増強戦略本部が開催)

- 支部役員研修(支部が開催)、地区役員研修(地区が開催)、理事研修(理事会が開催)
- 全県支部長研修(理事会が開催)、正副代表理事研修(正副代表理事会が開催)
- 新役員に対する会員増強研修(会員増強戦略本部が開催)
- ④ 全国行事、中同協役員研修会、九州沖縄ブロック行事に参加する(理事会、地区幹事会)

3 組織の整備

めざす姿

県、地区、支部がきちんと機能している状態

5カ年ビジョンの目標

- 顔が見え企業が見える適正規模(100名)支部
- 地域(行政区)に根ざした支部づくり・地区会の確立
- 委員会活動に多くの会員が参加している状態

① 全会員が自社の経営課題に

沿って、最低1つ以上の委員会(複数可)に登録する。そのために委員会の紹介冊子を作成する。(理事会)

- ② 県総会の位置づけを検討すると共に、地区・支部総会についても検討を進める。(理事会)
- ③ 地区の分割、支部再編について検討する(地区会)
- ④ 創立50周年記念行事の準備を行う。(理事会)
- ⑤ 年度方針、ビジョンの検証(ビジョン委員会)
- ⑥ 法人化検討特別委員会の設置
- ⑦ 同友すばる特別委員会の設置(ベテラン会員活性化のための方策、実施を行う)

4 財政一本化の推進

【総務財政室】

めざす姿

健全財政となっており、長期的な財務戦略の上で有効に財務運営が行われている。

5カ年ビジョンの目標

- 運動推進機能、シンクタンク機能、活動検証機能が果たせるようになっていく。
- 日常的には、あいさつや5Sが徹底され、明るくやりがいのある職場になっている。

① 事務局担当制のグループ化を検討する。

5カ年ビジョンの目標

- どの支部に所属しても同じ処遇を受けられる事を目標に、財政が全県一本化されている。
- 長期的戦略にそった財務構造になっている。

5 事務局強化

【正副代表理事・事務局】

めざす姿

事務局が会員のパートナーとなっている。

5カ年ビジョンの目標

- ① 県財政一本化の推進
- ② 支部繰越金の活用

② 専門性の強化を図る。

ご来賓の皆様 (敬称略)



九州経済産業局	局 長	滝本 徹
九州経済産業局	次 長	柴田 俊一
福岡県	副知事	海老井 悦子
福岡市経済振興局産業振興部	部 長	半田 敦士
福岡県中小企業団体中央会	専務理事	城 裕介
(財)福岡県中企業振興センター	理事長	高木 郁夫
中小企業診断協会福岡県支部	支部長	楨本 健次
日本政策金融公庫福岡支店 中小企業事業	事業統括	工藤 雅也
日本政策金融公庫福岡支店 国民生活事業	事業統括	菅 衡平
(株)商工組合中央金庫福岡支店	支店長	橋口 慎二
福岡県信用保証協会	保証推進部長	東中川 析夫
福岡中央銀行	取締役営業統括部長	國松 利行
筑邦銀行	常務取締役	空閑 重信
筑邦銀行 福岡支店	支店長	石井 智幸
遠賀信用金庫	理事長	中村 英隆
福岡ひびき信用金庫	常勤理事・審査部長	柴田 英紀
福岡大学	教 授	合力 知工
北九州市立大学	准教授	城戸 宏史
九州大学	教 授	湯本 長伯



滝本 徹氏



海老井副知事

第49回 定期総会

2011年4月26日(火)
福岡県中小企業振興センター 2階大ホール

15:30 開会あいさつ

物故者および
東日本大震災被災者
への黙祷

資格審査報告

総会表彰

永年会員表彰

会員増強表彰

特別表彰



2010年度の報告をする
古場前代表理事

議長団解任

新役員あいさつ

18:20 滝本経済産業局長
メッセージ

19:00 閉会

【総会審議】

- 第1号議案 「2010年度活動報告」
- 第2号議案 「2010年度決算報告」
- 第3号議案 「2011年度役員選出」
- 第4号議案 「2011年度運動方針案」
- 第5号議案 「2011年度予算案」
- 第6号議案 「規約改正案」



2011年度の予算案を
発表する中山新代表
理事

物故者に黙祷

2010年度に亡くなられた方々
のご冥福をお祈りして黙祷

矢野 正剛氏 (南支部)
河野 利隆氏 (名誉会員)
筒井 敏郎氏 (中央支部)

柳 憲一郎氏 (博多支部)
緒方 義裕氏 (久留米支部)
若松 通氏 (北九州支部)

2011年度 福岡県中小企業家同友会運動方針

総会表彰 (敬称略)

■ 会員増強支部表彰

福友支部(拡大数)…39名
嘉飯支部(入会率)…19%

■ 会員増強個人表彰

有馬 進 (北九州支部)
中原 均 (東支部)
石橋 一海 (福博支部)
白石 静馬 (南支部)



会員増強個人表彰の有馬さん

■ 会歴30年表彰

安部 千春 (北九州支部)
中島 弘道 (筑紫支部)
井上 寛司 (玄海支部)
相良 忠典 (北九州支部)
篠崎 捨男 (東支部)



30年表彰の中島さん

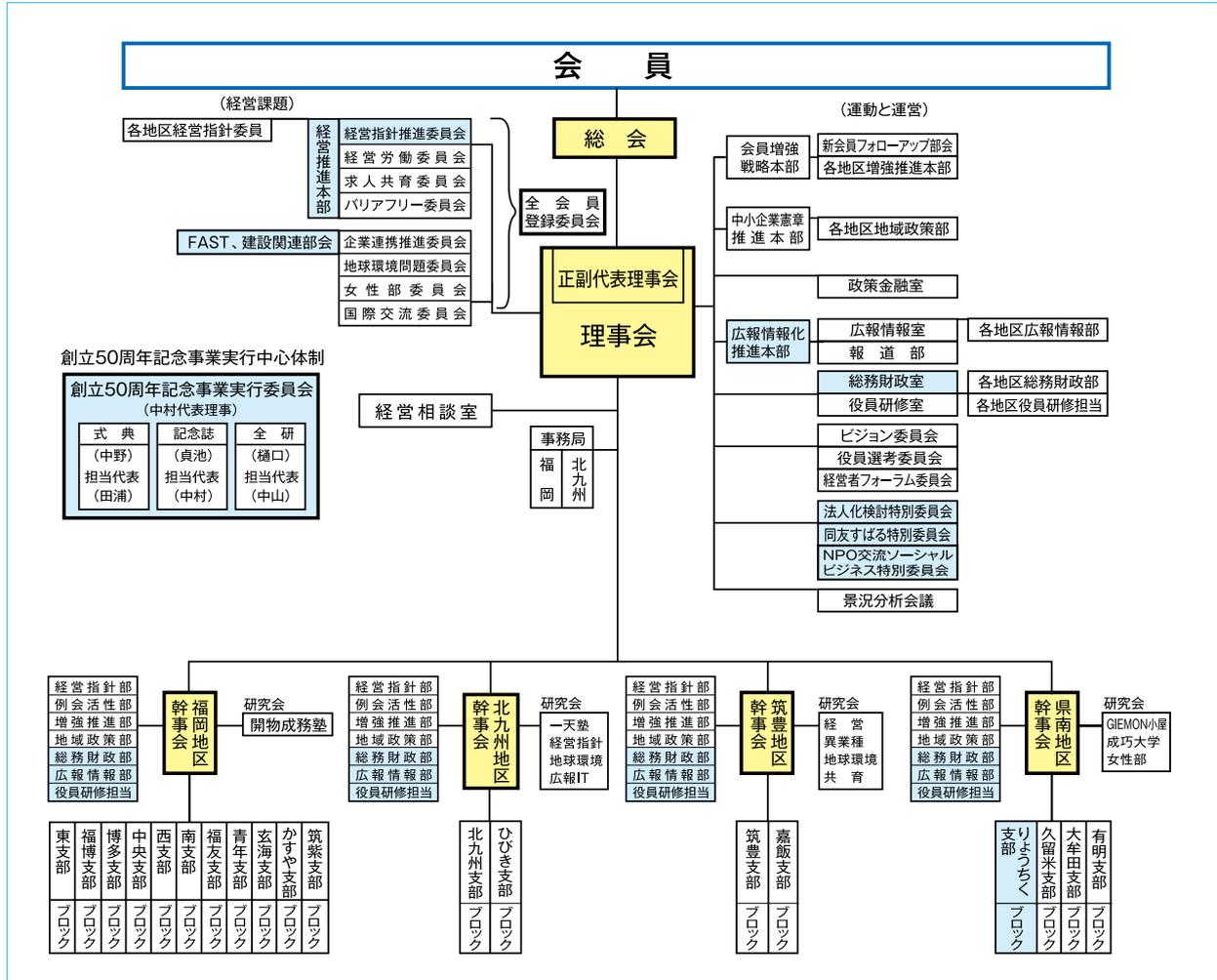
■ 会歴20年表彰

浦田 秀徳 (筑紫支部) 内海 敬一 (南支部)
有吉 崇 (嘉飯支部) 安部 利幸 (北九州支部)
前田ひとみ (久留米支部) 福田 寛明 (博多支部)
小林 秀二 (久留米支部) 高嶋 知明 (中央支部)
林田 達 (東支部) 別府 茂喜 (東支部)
富谷 正弘 (玄海支部) 副田 正信 (西支部)
須藤 政則 (久留米支部) 大庭 俊治 (筑紫支部)
村上 浩熙 (北九州支部) 阿部 晴樹 (北九州支部)
立野 光之 (大牟田支部) 井上 正志 (北九州支部)
山下 広己 (東支部) 小谷 美彦 (南支部)
森尾 恵 (北九州支部) 比地美枝子 (南支部)
大森 孝人 (筑豊支部) 松本 昌憲 (中央支部)
山本 真一 (玄海支部) 矢野 千寿 (博多支部)
納富 明 (玄海支部) 河津 紹司 (南支部)
吉田 雄美 (ひびき支部) 関 美代 (南支部)
宮崎 勝美 (かずや支部)

■ 会の発展に著しい貢献をした支部
福友支部…120ヶ月(2001年4月より
2011年3月まで)連続入会

組織図

は新組織・再編組織



2011年度 福岡県中小企業家同友会運動方針

2011年度 役員名簿 (敬称略)

役職名	氏名	事業所名	社内役職
代表理事	経営相談室長・景況分析会議議長・創立50周年記念事業全体統括・記念誌担当代表理事	中村 高明 (株)紀之国屋	代表取締役会長
代表理事	中小企業憲章推進本部長 創立50周年記念事業全研担当代表理事	中山 英敬 (株)ヒューマンライフ	代表取締役
代表理事	会員増強戦略本部長 創立50周年記念事業記念式典担当代表理事	田浦 通 (株)シティーライン	代表取締役
副代表理事	広報情報化推進本部長・報道部長 NPO交流ソーシャルビジネス特別委員長	村山 由香里 (株)アヴァンティ	顧問
副代表理事	経営推進本部長・創立50周年記念事業全研実行委員長・ビジョン委員長	樋口 康治 (株)アイル	代表取締役
副代表理事	経営推進副本部長・経営指針推進委員長	林田 浩暢 (資)若竹屋酒造場	社長
地区会長	福岡地区会長・会員増強戦略副本部長 創立50周年記念事業記念式典実行委員長	中野 正志 (株)福岡リロケーション	代表取締役
地区会長	北九州地区会長・会員増強戦略副本部長	有馬 進 (株)不動工業	代表取締役
地区会長	筑豊地区会長・会員増強戦略副本部長	鶴田 和寿 コースイ(株)	代表取締役
地区会長	県南地区会長・会員増強戦略副本部長	黒田 剛 (株)総本家黒田家	代表取締役
理事	直前代表理事	福田 賢輔 (株)△□○	取締役特別顧問
理事	(直前代表理事) 法人化検討特別委員長	岩本 博 (株)エフ・ティ・シー通信	代表取締役会長
理事	総務財政室長・法人化検討特別委員会副委員長	長井 士郎 (株)フォーユー	代表取締役
理事	政策金融室長	石蔵 義孝 (株)石蔵商店	代表取締役
理事	広報情報化推進本部副本部長・広報情報室長 創立50周年記念事業記念誌実行委員長	貞池 龍彦 (株)アビリティ・キュー	代表取締役
理事	役員研修室長・役員選考委員長	船山 稔 (株)永光	代表取締役
理事	求人共育委員長	時枝 寛 (株)コミプラ	代表取締役
理事	経営労働委員長・経営労働問題交流会企画委員長	植原 正明 (有)フルガード	代表取締役
理事	企業連携推進委員長	伊藤 裕一 伊藤建築設計事務所	代表者
理事	地球環境問題委員長	末竹 哲 (有)日研	代表取締役社長
理事	パリアフリー委員長	三輪 公平 I・WA・MI(株)	代表取締役
理事	国際交流委員長	伊藤 栄樹 伊藤中小企業診断士事務所	中小企業診断士
理事	女性部委員長	明石 智津子 (有)アカシ	代表取締役
理事	経営者フォーラム委員長	林田 達 (株)彩-いろどりー	代表取締役
理事	同友すばる特別委員長	白石 静馬 (株)テシマ	代表取締役
理事	福岡地区副会長・会員増強副本部長	笠置 重子 (有)タイセイ	代表取締役
理事	福岡地区幹事長	東 和範 (株)九州トラベルサービス	代表取締役社長
理事	(直前代表理事) 北九州地区副会長	古場 則光 (株)トラストスリー	代表取締役
理事	北九州地区幹事長	永久 美生 永久工業(株)	代表取締役
理事	筑豊地区副会長	中川 甚広 (株)ベストプラン	代表取締役
理事	筑豊地区幹事長	牟田 淳一 牟田鉄工(有)	代表取締役
理事	県南地区副会長	林 真一 まるは油脂化学(株)	代表取締役
理事	県南地区幹事長	松本 洋一 大松住宅設備(株)	代表取締役
理事	事務局長	川畑 義行 福岡県中小企業家同友会	事務局長
会計監事		平石 勝之 Gcomホールディングス(株)	代表取締役会長
会計監事		長 伸幸 長公認会計士事務所	所長
顧問		桑野 義政 桑野税理士事務所	代表者
顧問		井上 順善 富士食品(株)	代表取締役会長
顧問		土師 軍太 泉屋酒販(株)	取締役会長
顧問		吉田 昭和 福岡製袋工業(株)	相談役
顧問		吉田 豊博 吉田設計(株)	代表取締役
顧問		諸岡 昭三郎 KOHO(株)	代表取締役会長
顧問		堺 光則 (株)創建サービス	代表取締役社長

本場ドイツに負けない手造りハム・ソーセージを

有限会社 うえすたん

代表取締役

岩田 日出人氏 いわた ひでと

かすや支部



岩田氏(右)と長男秀太郎氏

手弁当でハム造りの修行

ステーキをウエスタンスタイルで提供している「うえすたん」は、創業26年目。福岡都市圏で10店舗(内FC2店)を展開しています。「うえすたん」ではステーキ店と共に、本場ドイツの伝統的な製法で、霧島山麓の無菌豚、天日塩、回帰水と原料にこだわったハム・ソーセージを製造しています。店内メニューに並び、通信販売も行っています。

岩田氏が、ハム造りを始めるきっかけは、創業当時、店舗で仕入れていた糸島手造りハムの生ハムです。「なぜ生の豚を食べれるのか?どうやって作るのだから



薫製前のソーセージ

うか?」素朴な疑問から次第に、「仕入れたものではなく、自分で作ったものをお客様に出して喜んでもらいたい」という思いに変わっていききました。創業3年目に3店舗目を出店後、従業員に店を任せて、反対する奥様を説得し、糸島市にある糸島手造りハム工房に、岩田氏自ら2年間無給で修業に行きました。手弁当で、掃除や片付けをしながら、見て覚えるという文字通りの丁稚奉公だったそうです。

平成3年、ハムの製造を始め

ました。ハム造りは、塩漬け↓熟成↓乾燥↓薫製の工程で行い、最長で1ヶ月の手間暇と熟練が必要です。当時はコンパネで自作の薫煙室を作り、中古の冷蔵庫を改造して熟成庫にしました。そのため、温度管理や送風の装置は無く、薫煙室につきっきりでした。

本場ドイツで自信をつけ

新商品開発に挑戦

ギフト商品の販売も始めて、製造量も順調に伸びましたが、岩田氏は満足することなく「本当に本場ドイツの味と同じなのか?」と悩ままし



20余年の歳月をかけて生まれた商品



2007年国際食肉見本市で銅賞を受賞

た。そこで、平成5年にドイツに渡り、国営職業訓練所で研修を受け、現地の製品を食べてようやく「ドイツと同等以上のもので作っている」という確信がもてたそうです。現在は長男秀太郎氏が工場長を引き継ぎ、食味の向上と新商品開発に奮闘されています。平成19年にはドイツの国際食肉見本市に出品し、銅賞を受賞しました。

「ハム造りは長時間労働と失敗の連続で、ステーキの店舗運営も山あり谷ありでした。しかし、最初は趣味的に始めたハム造りのおかげで、楽しみながら仕事を続けられたと思います。」岩田氏のハム造りへの挑戦はまだまだ続きます。

corporate data

有限会社 うえすたん
〒811-2304
糟屋郡粕屋町仲原2844-6
TEL 092-6229-9810
FAX 092-629-6822
www.yokamon.jp/shop/Y789/

取材: 広報情報室 中山 裕雄
写真提供: 有限会社うえすたん

やや持ち直し感あるものの、震災の影響で先行き大きな不安

調査要領

調査時 … 2011年3月8日～2011年3月23日

対象企業 … 福岡県中小企業家同友会 全会員企業

調査の方法 … メールおよびFAXの方法による自記入

回答企業数 … 349社の回答 (回答率…17.5%)

(製造業/63社、建設業/73社、商業流通業/44社、サービス業/159社、無記入/10社)

企業規模 (従業員数) … 0～10名以下/178社、11名～20名以下/84社、21名～30名以下/19社、31名～50名以下/30社

51名～100名以下/22社、101名以上/13社、無記入/3社

企業の所在地 … 福岡地区/231社、北九州地区/39社、筑豊地区/31社、県南地区/35社、県外/11社、無記入/2社

■景況調査結果

(1) 景況感、売上げ、利益、新規受注DI

75回と比較して景況感と売上げ高DIは改善したが、改善が見込まれていた新規受注DIは悪化、利益DIも大きくマイナスに傾いた。

(2) 次期景況の予測

次期景況予想では総じて悲観的な結果となった。連続した改善の後に短期の悪化を挟む例があったが、第二期の景況はここ数年悪化が繰り返されているため次回に警戒感がある。

(3) 業種別

業種別、景況感と見通しでは商業・流通業とサービス(対個人)が前回より悪化。製造業(生産財)と建設業においては次回への警戒感が強い。DI値ではサービス業(対事業所)は堅調な改善となった。一方商業・流通業とサービス業(対個人)は全面的な悪化。その他は一長一短といった状況となっている。

(4) 企業規模別

31名以上の企業において特に悪化が見られる。次回予想も悪い数値となっている。DI値では11名から20名の層では利益DIが悪化。その他31名～50名の層においては売上げと共に景況DIが相当の悪化となっている。

(5) 地域別

前回比較的良好であった北九州地区もマイナスの変化となった。利益DIはいずれの地区も悪化。また、福岡・北九州地区の新規受注DIの悪化は、前回より77件減った回答数規模から見ても影響が大きいと見られる。

(6) 経営上の問題点

一位を続けていた同業者間の価格競争が転落した一方、前回減少した民間需要の停滞の項目が増加。また、原材料の高騰、官公需の停滞、仕入れ単価上昇などの項目が増加した。

(7) 資金繰り

第75回での回答と比較すると余裕についてはあまり変わらないものの、「普通」の回答が減少し、その分「やや窮屈」に転じている。

(8) 特別設問(今回独自の設問)

①返済条件の変更申し込み(実施した条件変更内容)

- ・据え置き(元金据え置き、金利のみ支払)
- ・返済期間の長期化。据置期間の設定。
- ・これまでの借入金をもとめてプラス要求額満額の借入が出来ました。更に2年間の返済据え置きも実行していただきました。借金は増えたにもかかわらず金利もそれまでの金利より総額で下がりました。
- ・一年間の元金返済猶予
- ・減額支払い
- ・返済を延期した(期間延長)
- ・金利の引き下げ要求した。年利率 2.1%→1.95%
- ・金利の高い借入をまとめて一本化した
- ・繰上げ返済

②直近の経常利益

前回調査(2008年時点)では、黒字65%、赤字28.5%、に対して今回は、黒字46%、赤字29%となり、赤字企業は変わらないものの、黒字企業が19ポイント減少した。

③新卒採用予定

昨年調査(2010年)では、新規採用31%、採用なし66%に対して今回は、採用予定16%、予定なし84%と採用(予定)が半減した。

■分析会議報告

調査期間におこった東日本大震災の影響により、回答後の状況の変化が多く予想される。会議参加者間による情報・意見交換が行なわれた。

*部品・資材が入らない。自社では5割が輸出なので海外を優先させてもらっている。(国内はこういう状況なので待ってもらえている(製造業))。

*製造関連では金属加工は急激に部品の注文が殺到。納期が遅れる状況。人材派遣業のほうでは(自動車関係)休業状態。

*資材不足が取りざたされているが、震災による仮設住宅などに必要なベニア関連は、流通している中で15～20%くらいと思う。しかし、これが「無い」というのは「買占め」が行われている懸念あり。ユニットバスなどの部品の8割は東北地域で作られていた。今はよその工場に対応しているらしい。

メーカーも6月・7月くらいを目処に他工場に対応可能だろう(建設関連)。

*不動産は今のところ影響は無いが、会社が倒れるなどして、仕事が減り、消費が減り、所得が減るなど、家賃への影響が心配される。またオール電化などの建物や住宅は減っていくのではないかと(不動産)。

*食品・化粧品他、放射能の影響が懸念される(食品)。

*今直接の影響は見られないが、情報誌の「紙」の心配がある。求人市場では、逆に3月の新幹線開業や新規大型ショッピングモール開業などの影響を受けた所の対応でもっている(求人・広告)。

*今、外国人の観光が見込めなくなっている。7月・8月・9月時における博多・天神の期待度が高かったのが、震災の影響でマーケティングリサーチの延期を余儀なくされるお客さまが続出。当然自分達の仕事も減った。(マーケティングリサーチ)。

*今回の震災の影響から、メーカーの海外移転が進んで、その結果開発力の低下やブランド力の低下が懸念される。

以上のような状況から、景況分析会議では、次回4月～6月期調査の分析こそ肝要であると確認しました。

■分析会議 議長コメント

「震災による企業への間接的ダメージが、今後大きくなって来ると予想されますので、早めに資金調達しておくことが肝要です。」

2010年度 第12回 理事会報告

■日時：2011年4月20日(水) 15:00～18:00

■出席：50名(欠席委任28名) 出席率：64.1%

※誌面の都合により、報告事項等は割愛しました。

審議事項

1.入会・退会等審議(事務局長)

・入会34名、退会56名、除籍13名を承認。5名の移籍を報告。4月会員数2022名を確認。

2. 2010年度決算報告(鶴田理事)

・2010年度決算について、貸借対照表(科目明細を含む)、活動収支計算書を報告。
・会計監査を4月13日に終了したことを報告。
・決算により繰越金が確定したので、最終予算案を確認。以上について拍手で承認。その上で、支部繰越金を計上する科目については、2011年度財務財政室で検討。
・未集金回収については、再度規定の見直しを検討する。

3.第49回定期総会開催について

(1)総会議案への質問、意見に対する回答について
・事前に提出された質問、意見については、総会の参加者全員に書面にて配布する事を確認。
・それぞれの議案について、提案をした後質問や意見に答えることを確認。
・すべての回答の内容について、理事会として承認。
(2)総会表彰について
・永年会員表彰、30年(5名、代表 中島弘道氏)、20年(31名、代表 浦田 秀徳氏)
・会員増強支部表彰 拡大数(39名、福友支部)、入会率(19% 嘉飯支部)
・会員増強個人表彰 年間5名以上入会(達成者4名、代表 有馬 進氏)

・特別表彰 2001年5月～2011年4月まで120ヶ月連続入会(福友支部)
・退任代表理事への感謝状、記念品(3名、福田、岩本、古場 代表して福田代表へ)
(3)参加状況および参加促進
・総会283名目標に対して229名、交流会143名を報告。最後まで呼びかけることを確認。

(4)来賓の参加状況

・国(2名)、県(1名)、市(1名)、他団体(3名)、金融(8名)、大学(1名)を報告。
・交流会でのあいさつは、福岡県の海老井副知事1名にお願いすることを報告。(海本局長は講演を行うため)
(5)当日の進行と役割分担
・総会議事に関して、審議の後採決は、十分に議論を尽くす事を前提にして基本的に拍手を求める事とし、保留意見のある方は、文書にて提出していただくように議長より説明する事とした。
・資料に基づき最終的な役割を確認。乾杯は、発声者が「がんばろう!」と声をかけ、参加者全員で「ニッポン!」とすることを確認。

4.緊急アピール(案)(福田代表理事)

・総会場で緊急アピールを発信する事を承認し、議案終了後、議長解任前に行う事を承認。
5.名誉会員の申請について(事務局長)

・井上 和子氏(IKB美容経営研究会 代表者) 西支部支部長、兼任理事など歴任
「会員資格および会費等に関する規定(下記)の第24条(2)に該当するとして、名誉会員を承認。」

24条(2)に該当するとして、名誉会員を承認。

協議事項

1.2011年度にむけて

(1)委員会登録について(田浦副代表理事)
・経営指針推進委員会、経営労働委員会、求人共有委員会、バリアフリー委員会、企業連携推進委員会、地球環境問題委員会、女性部委員会、国際交流委員会、NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会、同友すばる特別委員会の10委員会について、登録を進めることを報告し承認されました。
・具体的な登録については、5月末までに委員会紹介のリーフレットを作成し、6月以降進めていくことが確認されました。
(2)事務局体制について(事務局長)
・2011年度の事務局体制について、2012年度にむけた事務局体制の動きを踏まえて報告。
・グループ制をとり、専門性の強化を課題とすることを報告。
(3)2011年度会員増強について(田浦副代表理事)
・来期の増強目標数を各地区でさつきり検討していただきたい。
第5回九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会への参加について(福田代表理事)
・5月26日～27日、熊本で開催される交流会について、参加を要請。
・19支部全部から参加で、福岡同友会として30名を超える参加をしたい。

2011年度 第1回 理事会報告

■日時：2011年5月11日(水) 15:00～18:00

■出席：29名(欠席委任5名) 出席率：85.3%

■会場：福岡県中小企業家同友会 会議室

■議長：樋口副代表理事

□開会あいさつ(中村代表理事)

理事会の使命と役割は、会の目的実現に向けて、一生懸命に活動する事につき、と述べられた後、3点について提起がありました。

①1947年生まれ以降の団塊世代が定年を迎え、生産年齢人口の減少の中、需要と供給のバランスが変わっていく中で今の大震災が起きました。今後我々は生き残りをかけて日本の復興を進めなければなりません。運動の理念に立ち返って学びと実践を進めます。委員会登録と活動への参加を通じて燃える集団づくりを進めましょう。
②社会や経営環境の変化に伴い、地区強化を図ってきました。組織充実を図ることが重要です。基礎的活動組織である支部、地区会、理事会のコミュニケーションの徹底がカギです。
③日本の復興のために、中小企業を守るために、理念を共有する仲間を増やしていきましょう。

審議決定事項 ※第1回理事会において、審議の上決定された事は、次の通りです。

1.第49回定期総会議案への質問・意見に対する回答

・事前および当日提出された議案への質問、意見への回答は資料の通り承認されました。
・総会の議案の承認の可否および採決のあり方について、出された意見については、当会当日の録音を確認して、すべての議案が承認されていることが報告され確認されました。
・総会報告と質問への回答の文書は、全会員に配布する事を確認いたしました。
・役員選考に関する質問意見に関連して、改めて役員選考規定の検討をする事を課題としました。

2.第49回総会のまとめと今後の総会のあり方について

・事前質問への回答の準備をして望んだが、時間が足りなかった点は次年度以降の時間配分の検討が必要。
・採決の仕方についても、同友会の基本にたった採決をと変更したものの、事前の周知説明が不十分だった点は否めない。
・今回は、来賓の方々の参加が過去最高で、特に同友会とともに活動している大学の研究者の先生方3名も参加いただいたことが特徴でした。また参加来賓全員が、交流会の最後まで参加頂き、会員の皆さんの懇談がなされた点も特徴となりました。
・総会のあり方採決の仕方については、総会の位置づけやあり方について検討する中で明確にしていく事としました。
・総会についての検討のしかたは、理事会を中心に、討議するテーマを明確にした上で、地区幹事会や支部役員会でも討議し、意見を集約して方向を出す事とし、8月をめどに明確にする事としました。

3.2011年度会員増強目標について

・2,271名目標を承認。(各支部が自主的に立てた目標の合計、必達とする。)
・増強の意義を確認する場として、増強研修会を開催する。(6月8日 第2回理事會終了後)参加対象は、各支部長・支部増強責任者、地区増強担当、理事全員。
・増強について学ぶため、先進県である愛知同友会の増強研修会(5月31日)に学びいく。
・定着促進のため、退会申し出者の理由を把握するため、退会届用紙を改定する。(北海道同友会の用紙を参考に

した)

4.新会員フォローアップセミナー開催カリキュラム

・役員研修室から提案があった。新しいカリキュラムで実施することが承認されました。
・尚、委員会活動の紹介の仕方について更に具体的に検討することが提起されました。
・部会員について、各支部副支部長クラスを推薦して頂くように、地区との懇談会で要請する。
・6月23日を今年度第1回とする。以降は毎月第4木曜日「新会員の日」とし、他の行事は入れないようにする。
・入会承認書は郵送、バッジは例会で渡す。

5.平成23年度「70歳まで働ける企業創出事業」の実施

・平成22年度「70歳まで働ける企業創出事業」の実施報告書が配布されました。最終的な決算報告は、次回理事會に行う事としました。
・平成23年度「70歳まで働ける企業創出事業」の同友会受託が決定したと報告がありました。詳細な事業内容は、改めて報告する事とし、樋口副代表理事が担当役員になったと報告されました。

6.除籍審議

・2名の除籍申請を審議し、承認しました。

7.立替金申請について

・福岡地区より申請があった「合同展示会会場予約立替金依頼」について、承認されました。

8.夏の軽装(エコスタイル)の実施について

・環境へのとりくみと節電のために、例年より早めて、同友会の活動への参加や事務局員の服装について「エコスタイル」を実施することが承認されました。期間は、5月12日～10月31日まで。

報告要請事項 ※関係委員会等から報告があり、要請があった事は、次の通りです。

1.全会員の委員会登録の進め方(スケジュール)

・5月末までに委員会紹介リーフレットを完成させ、月末全会員向け発送物で郵送し登録をスタートさせます。
・6月以降、地区幹事会、支部役員会でも報告頂き、登録を促進します。
・新入会員の方々には、入会申し込み時に登録いただきます。

2.2011年度広報情報化推進について(広報情報化推進本部)

・役割を大きく三つに分けている。「月刊同友編集部(貞池)」「情報部(齋藤)」「報道部(村山)」
・広報情報化の委員を各支部より推薦してほしい。
・ホームページ上に、各支部の例会内容をアップしていくことを推進する。
・支部のホームページと県のホームページが並立している状態だが、経費的にも一本化していくことが効果的にも大きいと考えて問題提起している。3年ぐらいかけて検討して方向付けをしていく。
・6月1日にマスコミ懇談会を開催する。

3.中小企業憲章大学習会開催と参加促進について

・6月21日 15:00～ 中小企業振興センター 2F大ホールにて開催。福岡県中小企業団体中央会と共催で開催。400名目標で参加呼びかけをお願いしたい。
・中同協より提起されている、「日本経済ビジョン」について意見を出してほしい。

4.国際交流委員会

・中国バイヤー向けプレゼンテーション&商談会開催の案内(7月14日・15日 大連)

5.特別委員会(NPO交流・ソーシャルビジネス)の企画内容

・NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会 第1回委員会開催案内(5月30日)
・同友すばる特別委員会 第1回準備会開催案内(5月30日)
・法人化検討特別委員会 委員名簿の確認

6.第23回経営者フォーラムの企画内容

・記念講演および10分科会の企画内容の報告

7.女性経営者全国交流会への参加

・第14回女性経営者全国交流会(6月9日～10日 静岡)参加呼びかけ(15名目標)

8.第43回定時総会(札幌)への参加

・第43回中間協定時総会(7月5日～6日 札幌)への参加呼びかけ(35名目標)

9.経営労働問題全国交流会の準備状況と実行委員推薦について

・8月25日～26日の2日間、北九州で開催される交流会準備会実行委員会を進めている。四つ分の分科会(内一つは福岡設営で、報告者は藤河次宏さん)と記念講演(田山講堂さん)
・参加促進を進めていく上で、各地区1名の参加促進担当者を推薦してほしいと要請。

10.九州沖縄ブロック「第5回支部長・支部活動研修交流会への参加」について

・5月26日～27日の二日間、熊本で開催される交流会について、全支部、地区から最低1名以上の参加をお願いしたい。

11.この間の動き

・総会を挟んだこの間、本部、室、委員会との懇談会および各地区と代表理事との懇談会を開催している。それぞれ、一生懸命活動を続けているが、単独では解決できない課題も抱えている。内容についての記録の資料をつけているので目を通してほしい。
・今後、理事会のテーマに挙げて議論をし、地区会にも呼びかけ、十分なコミュニケーションをとってほしい。

報告事項

1.前回理事会(4月20日)以降の活動報告

・資料参照

2.東日本大震災からの復興にむけた「福岡県」の取り組みについて(雇用受け入れ)

・同友会の緊急要望提言を受けて、緊急雇用対策で県が給与を支給し、県営住宅に入居する制度を実施する。定員は15名。
・詳細の説明会が5月20日に開催されるので、この案内で、4月中旬に実施した雇用受け入れの可能性調査で「可能」と回答した44社に案内を送る。

□開会あいさつ(中山代表理事)

新たな体制での第1回理事会でした。まずやらなければならないことは、会員との信頼関係の回復です。理事会で審議されたことを経過も含めて地区幹事会でしっかり伝えながらしっかりとコミュニケーションをとり、次年度気持ちのいい総会を迎えたいと思います。

17 金 18:30—21:00 福友支部6月例会

我社にもあった!自慢のオンリーワン!!!
～No.1にならなくてもいい もともと特別な
Only one～

■都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■大熊 唱揮氏 富士バック 副代表(福友支部)

紙袋や封筒の製造・加工を請け負う富士バックさん。機械化や中国との競争により事業運営は厳しい状況が続いています。「自社にオンリーワンの部分があるとすれば、それは品質へのこだわりだと思います」と大熊さん。自社のオンリーワンは何なのか?そのオンリーワンをどう経営に活かしていけば良いのか?どうすればお客様にうまく伝えることができるのか?そのようなことを深く考え、例会では以下について発表していただく予定です。どのような過程を経てオンリーワンを見つけることができたのか・オンリーワンが見つかった、自分の中で何が変わったのか・今後の事業展開で、どのように実践していきたいか。

20 月 18:30—21:00 嘉飯支部6月例会

「経営指針」価値観の共有事項
～経営指針は経営の第一歩～

■バドゥ・ル・コトブキ
飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138

■岩田 陽男氏 岩田産業株式会社 代表取締役社長(東支部)
嘉飯支部6月例会では、県の経営指針作成セミナーでも講師をつとめる岩田産業(株)の岩田社長をお招きし、学びあいたいと思います。県下でも認知度が高く、地場企業の雄として活躍されている岩田社長の「価値観の共有」の経営と、経営指針の重要性について学びあいましよう。

21 火 18:30—21:00 博多支部6月例会

経営に活かそう「同友会の三つの目的」
～ブロック会活動を自社の経営に役立てよう!～

■IPホテル福岡
福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■齋藤 純氏 他各ブロック長
株式会社インフィニティ 代表取締役社長(博多支部)
同友会が目指す「三つの目的」がなぜ必要なのか?同友会活動で「三つの目的」をどのように学ぶのか?事業活動で「三つの目的」をどのように活かすのか?を学び、同友会で学び自社で実践する活動の中で、「計画」と「実践」と「検証」と「改善」のPDCAサイクルを通じて、自己の成長と企業の発展に活かして頂きます。

21 火 18:30—20:30 久留米支部6月例会

仮)同友会で我が社は救われた!

■萃香園ホテル
久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351
■田村 誠一郎氏 株式会社タムラ 代表取締役(久留米支部)

21 火 15:00—17:30 中小企業憲章大学習会

中小企業憲章制定1周年
「大震災からの復興と日本経済の成長は、中小企業
の力で!」～中小企業憲章とは?～

■中小企業振興センター大ホール
福岡市博多区吉塚本町9-15
■宮本 昭彦氏 中小企業庁事業環境部企画課長

21 火 18:30—21:00 玄海支部6月例会

明日からの実践策を探る「戦略、営業会議」

■都久志会館
福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335

みんなが抱えている問題をテーマにブロックごとに検討会、みなりの知恵を結集し、具体的な解決策を探ります。「三人寄れば文殊の知恵」ぜひ、壁を乗り越えるために、明日から実践できるヒントをつかんでください。

23 木 18:30—21:00 新会員フォローアップセミナー

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15

23 木 18:30—21:00 りょうちく支部6月例会

『古代街道』から見えてくる両筑地域の未来

■松屋会館 久留米市田主丸町鷹取528-3 ☎0943-73-0960
■石井 幸孝氏 九州旅客鉄道株式会社(JR九州) 初代社長

古くより交通の要となる街道を有している両筑地域ですが、実は1500年も前の飛鳥時代からこれに類する交通路がこの地区に存在していました。この交通路は、地理的・地域的要因から必然的に生まれたものでした。地域歴史上、交通網として考えた時、九州における両筑地域の地理的な優位性というものは古より変えようの無い事実のようです。これらを鑑みた時、現在道州制への移行が議論され現実味を帯びてきた中で「道州制移行の際に両筑地域は『州都』をもねらうべきである」と主張する石井氏。歴史的事実から今後の両筑地域の未来展望を語る石井氏の講話から地域発展のヒントを見つけてください!

23 木 18:30—21:00 筑紫支部6月例会

お互いに直面している経営課題を語り合おう

■筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■パネラー：淀川 洋子氏、石蔵 義孝氏、江口 義弘氏
■コーディネーター：樋口 康治氏

建設業、製造業、サービス業界の会員さんに、それぞれの現状と予測される今後の問題、及び実行中の対策、今後必要な対策を報告してもらいます。

24 金 18:30—21:00 有明支部6月例会

スポーツ交流会
～ブロック内の一致団結を計ろう～

■ジョイプラザ佐賀店・アーバンポウル
佐賀市東与賀町大字下古賀一本杉151
■17:45集合(割烹福喜)

25 日 9:30—17:30 経営指針作成『あすなる塾(大牟田会場)』

■だいふく
大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333

28 火 18:30—21:00 企業連携推進委員会 FAST第7回設立記念講演会

産学官連携による地方の活性化が日本を救う

■福岡県中小企業振興センター202号会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
■松永 守央氏 国立大学法人九州工業大学 学長
今年度は中小企業の役割と重要性を認識し「連携と創造とブランディング」をメインテーマにFAST活動の取り組みをしてみたいです。

7月

2 日 9:30—18:00 経営指針作成『あすなる塾(福岡会場)』

■福岡県中小企業振興センタービル501会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15

6月 18:30—21:00 筑豊支部6月例会**経営者の為のリスクマネジメント講座
～社長が知らなかったでは済まされないお金の話～**

- ユメニティのおがた
直方市山部 364-4 ☎ 0949-25-1007
■中川 甚広氏 株式会社ベストプラン 代表取締役 (筑豊支部)

14日 18:30—21:00 南支部6月例会**同友会理念!『自主・民主・連帯の精神』を学ぼう!
～会社や家庭環境に取り入れ、実り豊かな人生づくりに～**

- IPホテル福岡
福岡市博多区中洲 5-2-18 ☎ 092-262-2009
■中村 高明氏 株式会社紀之国屋 代表取締役会長 (筑豊支部)

今回は、同友会理念、三つの目的の『自主・民主・連帯の精神』を学び合う例会を行います。報告者は、今期、代表理事に復帰された、(株)紀之国屋 代表取締役会長 中村高明氏に体験報告をしていただきます。同友会理念を皆さんで学び合い、自己実現や会社での経営理念の浸透に役立てたいと思っています。

14日 18:30—21:00 西支部6月例会**社員に胸をはれる会社にしたなら、社員が胸をはって働ける会社になった!**

- 天神ビル
福岡市中央区天神 2-12-1 ☎ 0120-323-920
■藤河 次宏氏 拓新産業株式会社 代表取締役 (南支部)

今月の例会は「一流の中小企業」を目指し、ユニークな中小企業とマスコミにも取り上げられている拓新産業株式会社の藤河社長にご報告頂きます。「経営計画書」も社員に公開。「たら・れば」を断ち切る→有言実行→企業は「夢」を実現する場所。夢が現実味を帯びると「願望」となり、さらに具体化すれば「目標」となる。日常の仕事に目標を持って意欲的に取り組んでもらうために会社の進む方向を示すことが必要と。有給休暇消化率 100%。やればできる社員満足向上を学びましょう。

15日 19:00—21:00 大牟田支部6月例会**同友会を知る会**

- だいふく 大牟田市有明町 1-3 ☎ 0944-53-3333
■今村 成剛氏 株式会社今村組 代表取締役副社長
■大仁田 拡光氏 有限会社セイコーボード 代表取締役

大牟田支部の2011年度のスタートは、同友会を深く知り活かしていく場として、知る会を企画しました。会員外の方をお誘いすることはもちろん、会員の方も大いにご参加下さい。就業人口の7割が中小企業に勤めているという現状の中、私達中小企業自らが元気になり、日本経済を引っ張っていく事しか、真の日本経済再生の道はないのです。しかし、経営環境の変化は一段として大変厳しい時代です。時代に取り残されないよう日々努力を重ねる事は当然ですが、一人で悩みを抱えていませんか? 同友会には、体験・情報・ノウハウを増やす勉強会が数多くあります。また、悩みを相談できる多くの経営者達がいます。今こそ、経営者の仲間と助け合い、学び合いましょ。

15日 18:00—21:00 東支部6月例会**混迷の時代! 経営者の大選択肢のチャンス
～同友会をもっと活用し全員で経営課題に取り組もう～**

- ウイズザスタイル
福岡市博多区 博多駅南 1-9-18 ☎ 092-433-3900
■吉浦 茂弘氏 株式会社ティーディーエス 代表取締役 (東支部)

前職(父)の会社の時に同友会に入会、指針書作成、努力の二文字で身につけたIT技術を生かし創業するも苦難の連続! 自身の夢や理想の在り方を込めて作成した魂の経営指針書を羅針盤に運営するも現実の目標には遥か届かず、挫折寸前に追い込まれる。同友の暖かい応援や叱咤激励で一奮起、大きなイノベーションによって夢実現実行中。想定外のM&Aも徹底調査、分析、検証し磐石の新たな理想カンパニーに実践経営指針書を進化させ、この混迷の先の見えない経済の中で燦爛と輝く全社員共有の発展のバイブルによって現在懸命奮闘中!

15日 18:00—20:30 福博支部6月例会**『屋根空間を空中の楽園にしたい、栄住産業の成長の秘密』～事業計画書の活用と今後の展開について～**

- IPホテル福岡
福岡市博多区中洲 5-2-18 ☎ 092-262-2009
■宇都 正行氏 株式会社栄住産業 代表取締役

**15日 18:30—21:00 北九州・ひびき支部
6月合同例会****初めてでも分かる! 自社の改善・改革が見えるトラの巻!!
～テーマ【企業変革支援プログラム】～**

- 八幡ロイヤルホテル
北九州市八幡東区枝光 1-1-1 ☎ 093-662-1020
■船山 稔氏 株式会社永光 代表取締役会長 (博多支部)

16日 18:30—21:00 中央支部6月例会**一流の中小企業とは
～激動の中・利益を出し続ける秘訣とは?～**

- 天神ビル 11F 9号会議室
福岡市中央区天神 2-12-1 ☎ 0120-323-920
■藤河 次宏氏 拓新産業株式会社 代表取締役 (南支部)

世界的な経済危機、そして東日本大災害の影響の厳しい真っ只中、私達中小企業においても大半の企業業種問わず非常に厳しい経営を強いられ、今後さらに危機的な情勢が予想されています。経営者として、このような厳しい経営環境でも、時代の変化に対応して、成長、発展させていかなければいけません。藤河氏は言う! 厳しい時代だからこそ「将来はこうありたい」自社の指針書、将来像や夢をかかげる必要があります。厳しい経済状況に於いて、売上は減少しても利益を出し続けていいます。一流の中小企業を目指す藤河流経営「顧客満足より社員満足」とは・・・

16日 18:30—21:00 かずや支部6月例会

- 粕屋町商工会会議所
粕屋郡粕屋町若宮 2-3-1 ☎ 092-262-1965
■納富 輝子氏 有限会社一柳 取締役営業部長 (福友支部)

17日 19:00—21:10 青年支部6月例会**しん友作りの第一歩! 仲間と深〜く語り合おう!**

- 天神テラホール
■青年支部会員及びゲスト
自社及び自身を見つめ直しPRシートを作成し、それをもとに商繁会を行います。

HIDE TRADING CO.,LTD.
 株式会社 ヒドレーディング
 HAT,CAP,WATCH,BAG,BELT,STOLE,WALLET,and more

オリジナルブランド ROLLIE'S 取り扱いブランド Layroom etc ティスニー グレイトフルテッド コカコーラetc

ファッション小物雑貨を全国の卸様専門にオリジナルブランド、
 取り扱いライセンスのオリジナルデザイン商品を、
 生産、企画デザイン、輸入、をしているメーカーです。

本社
 〒813-0084 福岡県福岡市東区多の津1-11-11 TEL(代):(81)092-629-8850
 営業部:050-3540-1782 FAX:092-629-8851 E-mail:+suzukihides.co.jp

SECURITY

東洋警備保障株式会社
 専務取締役 岩崎 徳男

本社 北九州市小倉北区今町1-1-41 TEL 093-591-1785
 福岡支社 福岡市博多区博多駅前2-20-15 第7岡部ビル4F TEL 092-418-1211
 URL <http://www.toyokb.co.jp> E-mail info@toyokb.co.jp

SanEki 三益製薬 株式会社

代表取締役 大森 清美 自然と共に安心と健康と若さを創造する

〒812-0016
 福岡市博多区博多駅南2-1-5 博多サンシティビル6階
 TEL:092-411-8066 FAX:092-411-8066
<http://www.san-eki.co.jp>

健康食品の研究開発・製造・卸・OEMをご提供いたします。

◎あなたの元気をお手伝い!

- 産地直送販売「青旬市場」
- 作業服・用品、ユニホーム、ギフト用品

代表取締役 山脇 弘子

株式会社リ・サイエンス・ラボ

〒812-0041 福岡市博多区吉塚2丁目1-37-2F
 TEL:092-612-7440 FAX:092-612-7441
 E-mail: rabo@d5.dion.ne.jp

都会の一隅に癒しの空間

HOTEL TENJIN PLACE

当ホテルは福岡市の中心・天神地区にありながら心落ち着く静かな癒しの空間の中。心身の健康を追求した至福のおもてなしをご提供します。

RISTORANTE Caffe *Bifrecc* 美フレッチェ

代表取締役 山本 博久
 株式会社ワイ・エム天神
 〒810-0021 福岡市中央区今泉町1-2-23
 TEL 092-733-1234 FAX 092-733-1235
 フリーダイヤル 0120-828-399
 URL <http://www.hotel-tenjinplace.com/>

大切です!! 定期的な清掃や設備・水質の点検!

JIC 三和浄水株式会社

建物の所有者・管理者は、利用者が水を安心して利用できるようにする為、貯水槽や排水管について衛生的に維持する責任があります。見えない箇所だからこそ定期的なメンテナンスが必要不可欠です。

〒815-0031 福岡市南区清水2-6-14
 TEL:092-511-7171 FAX:092-511-7345
<http://www.hot-line.co.jp/sanwa/> e-mail: sanwa-j@deluxe.ocn.ne.jp

Sereano 人前で話すことが苦手な方・お悩みの方、お気軽にご相談下さい。

代表取締役 山下 実笑 Yamashita Mie

有限会社セレーノ・コーポレーション <http://www.sereano.com/>
 〒810-0041 福岡市中央区大名1-15-7 ネオハイツ大名905
 TEL 092-725-4211 FAX 092-725-4222
 E-mail(PC): rsj22155@nifty.com Mobile:090-6893-6206

- 20代～MC / ナレーター
- 30代～MC / 社員研修 / 専門学校講師
- 40代～MC / セミナー講師 / 講演
- 50代～社員研修 / 講演
- 企画開発事業部 Kira Kira Wave などイベント企画運営

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部
 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
 福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会 検索